内閣総理大臣杯争奪

第３９回日本車椅子バスケットボール選手権大会

個人トータル表

2010年5月4日　13時20分開始

敗者戦　　東京体育館　　C － 4

◎ **森本文化風呂商会** 72（関　東）

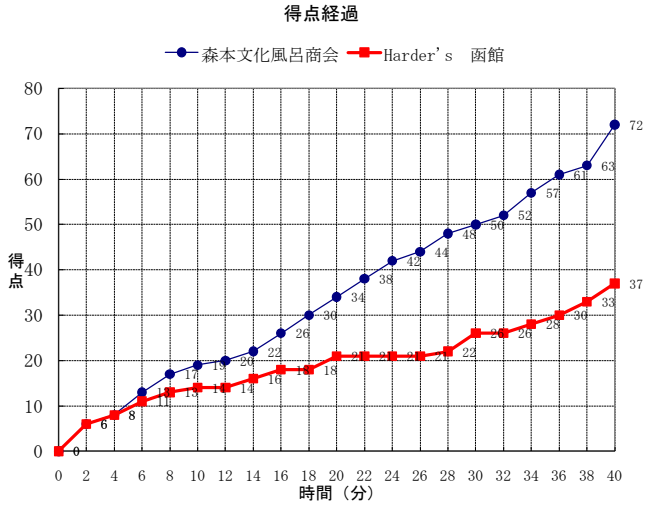
19	1ｸｫｰﾀｰ	14
15	2ｸｫｰﾀｰ	7
16	3ｸｫｰﾀｰ	5
22	4ｸｫｰﾀｰ	11

37 **Harder's　函館**（北 海 道）

番号	氏　名（持ち点）	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
4	栗原　勇二（2.5）	1	0	0	1	－	－	2
＊ 5	三枝　達哉（3.5）	9	0	4	1	－	－	0
7	富田　謙一（3.0）	0	0	0	0	－	－	0
＊ 8	森本　哲也（2.0）	10	0	4	2	－	－	4
＊ 11	前田　憲造（4.5）	22	0	11	0	－	－	1
12	三橋　亨（1.0）	0	0	0	0	－	－	2
13	古川　和基（2.0）	10	0	5	0	－	－	5
＊ 14	石川　正（2.5）	18	0	9	0	－	－	1
＊ 15	武藤　幸一（1.0）	2	0	1	0	－	－	0
ｺｰﾁ	森本　哲也							
Aｺｰﾁ	森本　美智子							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	三枝　千春							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	辻　融枝							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	前田　瞳							
合　計		72	0	34	4	0	0	15

番号	氏　名（持ち点）	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
＊ 4	松野　寿（3.0）	10	0	5	0	－	－	3
＊ 5	山田　行広（4.5）	4	0	1	2	－	－	3
＊ 6	竹森　敬高（3.0）	2	0	1	0	－	－	0
7	池田　伸二（1.0）	－	－	－	－	－	－	－
＊ 8	坂下　伸二（1.0）	0	0	0	0	－	－	2
＊ 9	田中　聖一（2.0）	21	3	4	4	－	－	5
10	田中　得政（3.0）	0	0	0	0	－	－	1
11	小田原　寛文（2.0）	－	－	－	－	－	－	－
ｺｰﾁ	山田　広喜							
Aｺｰﾁ	安立　直子							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	小林　めぐみ							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	春山　絵里子							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ								
合　計		37	3	11	6	0	0	14

主審：　横山　稔
副審：　沖島　理恵子
副審：　山崎　則夫



〔 戦　評 〕
森本文化風呂商会（黒） vs Harder's函館WBC（白）の試合。
スターティングメンバーは、黒#5, #8, #11, #14, #15。白#4, #5, #6, #8, #9。

1Q:両者の実力は拮抗しているか。互いのチェアワークも軽く、双方の得点は2P, 3Pで重ねられている。黒のTカップディフェンスに対し、白のマンツーマンディフェンス。残5分まで、シーソーゲームとなるが、残3分頃より黒のシュート精度が光る。外からのシュートの打ち合いのためか、精度の面で黒優勢か。だが、白#9の果敢な攻撃も際立つ。1Qは19vs14で終了。

2Q:白、焦りがでたか、シュートミスの上にファウルが重なり、黒にフリースローを与えてしまう。黒、ピック&ロールと速攻により点差を広げる。また、黒のTカップが冴え、白は外からのシュートを強いられ苦戦。白#9の指令下でもシュートコースは開けない。黒、際どいディフェンスにてチームファウル5回。それでも白はチャンスを作れない。黒のシュート精度落ちず、2Qは34vs21で終了。

3Q:黒#13のチェアワークが際立ち、速攻により点差が広がる。白は利点である筈の背の高さが生かせない。逆にスタミナ切れの感があり、3Q残6分で疲労の色が濃い。黒#13の速攻、ランニングシュートに翻弄され気味。#8もシュートコースの読みが鋭く、白との点差を広げる。#13のパーソナルファウルが５回となり退場となるも、#11のロングシュートも決まり、白のスタミナを奪う。50vs26で3Q終了。

4Q:白の#4, #9の速攻が冴えるも点差は縮まず。#5がゴール下に居るものの、ボールのコースが定まらず、チャンスを生かせない。黒の変幻自在な速攻に白は翻弄され、防戦も空しい。黒#14, #11の背の高いシュートが容赦ない。白#9が3Pで諦めずに応酬するも、パーソナルファウルが重なり退場。試合終了を告げるブザーが鳴った。72vs37。

（担当：大河原／四方田／高木）